

市内保育所・園、幼稚園、小中学校の保護者の皆様 地域の皆様へ

教育センターだより【9号】

令和元年9月12日発行



518-0485

三重県名張市百合が丘西5番町25番地

事務室・教育よろず相談 1F

Tel 0595-64-8801 Fax 0595-64-8802

E-mail:kyouiku-ce@city.nabari.mie.jp

minakuru01@nabari-mie.ed.jp

ホームページ <http://www.nabari-mie.ed.jp/minakuru/>

適応指導教室（さくら教室）2F

Tel 0595-63-7830 Fax 0696-63-7830

E-mail:sakura@nabari-mie.ed.jp

学校ボランティア室 1F

Tel 0595-64-8864 Fax 0595-64-8802

教育講演会

有意義な研修となりました！

8月9日（金）

平松 義樹 先生（愛媛大学名誉教授）

教えること、育てること、そして、愛すること～教師として生きる「覚悟」を問う～

平松先生は、前日から名張に来られ、市内を散策しながら、名張の自然や文化、人の様子などに触れ、名張市が「とても素敵な町です」という感想を述べられたところから講演が始まりました。

人の感情を客観的なものさしで計ることはできない。「悲しい・寂しい・つらい」といった子どもたちの心にあるものは、確実に主観的事実として存在する。こういった視点や考え方を持って私たちは子ども理解に努め、その子を理解し寄り添わなくてはならないということを学びました。子どもたちは私たちが発する言葉を「食べて育つ」というフレーズを聞いた時、自分自身を振り返る良いきっかけとなった人も多かったのではないのでしょうか。「あせらず・あなどらず・あきらめず」というお言葉もいただきました。学校教育・家庭教育ともに参考となる考え方ですね。



ばりっ子 わくわく キャンプ レポート

8月20日（火）・21日（水）の2日間、国立曽爾青少年自然の家で「ばりっ子わくわくキャンプ」が行われました。事前学習を何度も重ね、万全の準備で臨み、様々な体験活動を通して、新たな発見や気づき、なかまと共に過ごす中で、の連帯感、物事をやり遂げた時の達成感など、貴重な経験と成長の機会となったことと思います。

下に、その一部を紹介します。



なばり学ゲストティーチャー研修会が行われました！

7月18日（木）、「なばり学」のゲストティーチャーの今年度第1回研修会として、下の項目について「これだけはぜひ子どもたちに伝えたい」という説明ポイントを話し合う機会をもちました。

希望する項目内容ごとにグループになり、準備された資料集や教科書などを参考にしながら、各自が付箋に重要と考える説明ポイントを書き出し、それらをまとめていくというグループワークの方式で行いました。その後、それらを全体で還流し、方向性をより具体的かつ明確にすることができました。

「なばり学」の一層の充実のために、今年度も4回の研修会を開催し、学校の要請に応じていく準備をしています。

【グループワークの項目】

- A：名張に伝わる言葉・歌・遊び
- B：赤目四十八滝
- C：名張の祭り
- D：名張にも戦争があった
- E：美旗古墳群
- F：観阿弥創座の地



ベッドメイキング、
うまくできるかな？

事前指導もバッチリ。
28日にはふり
返りも行いました。

キャンプファイアーを囲んでクイズ、
ゲーム、ダンスを行いました。



野外炊飯もしました。
写真は棒パン作り。



★子育て支援研修会(第3回)

参加申込
受付中

育てにくさを感じる子どもの理解と対応
～子どもの育ちをサポートするために～

講師：新山 君代さん（特別支援教育士）

◆日時 令和元年10月17日（木）

9時30分～11時30分

（受付9時00分～）

◆テーマ 「困っているのは誰ですか？」

～学習面で気になる子どもの理解と支援～

◆場所 教育センター 大研修室

（子どもセンター2F）

◆締切日 10月4日（金）

電話 64-8801 FAX 64-8802

水引細工で小物づくり

6月22日(土)の週末教育事業は、水引細工を利用し、淡路結びの練習から始まって、金魚を作りました。12名の小学生の人たちが参加したのに対して、Kids サポーター隊が



10名参加し、大人のスタッフと一緒に補助にあたりました。1人2つくらいの金魚を完成させて持って帰ることができました。

ミニミニ科学実験

7月6日(土)は、「ミニミニ科学実験」と題し、①コイルモーターを作ろう・②電気を作ろう・③紫キャベツで酸とアルカリを調べよう・④だ液で消化のしくみを知ろうという4つの学習を2時間で全て行いました。6名の Kids サポーター隊とともに全員が4種類の科学実験をこなしました。

絵画教室

7月26日(金)・27日(土)「見たことのない絵を描こう」と題して、それぞれが色鉛筆の上に水彩絵の具を塗り、更にそこに墨汁をはけで塗ることによって浮き出たような絵にするなど、初めての画法に挑戦しました。上手に描こうだけでなく、こんな表現の



仕方もあるのだということに気づくなど、普段とは違う絵の描き方を楽しく学べました。

プログラミング教室

8月2日(金)は「スクラッチを使ってプログラミングを学ぼう」というテーマで、名張青峰高校で行われました。高校生も7人参加して、学習の補助にあたってくれました。「スクラッチ」というAIを兼ね備えたプログラミング教材(アプリケーションソフト)を使って画面上のキャラクターを動かしたり背景を変えたりする体験をしました。プログラミングの基礎に触れる良い機会となったようです。

Kidsサポータークラブと一緒に夏休み宿題をしよう!

7月22日(月)・23日(火)は、自分の課題を持って来て、それぞれがしっかりと取り組んで居ました。Kids サポータークラブは、高校生が3名、中学生が1名で、ずっと寄り添って宿題の内容に対してアドバイスをしてくれました。国語や算数の宿題を持ってきている人が多く、宿題が進むだけでなく、自信のなかった単元も直接教えてもらうことで「よくわかってスッキリした」といった感想も聞かれました。



週末教育事業

夏休み
総まとめ
特集!

キッズ・イングリッシュ

8月7日(水)と8月8日(木)の2日間、名張市のALTであるマギー先生とジェイコブ先生による英語教室が行われました。国名・動物などの単語を用いたゲーム形式の活動を通して、にぎやかに楽しく英語と触れ合う機会となりました。小学校の低学年の子どもたちが本場の英語を聞いたまま素直に発音している元気な様子を見てみると、私たち大人も見習いたい姿だと感じる場面も多くありました。



「勾玉」づくり&遺跡探索ウォーク

8月22日(木)は、まず事前学習を行いセンター周辺にある中村古墳群高尾支群を散策・見学して、その歴史や仕組みを学習しました。後半は勾玉造りをしました。勾玉をつくるものとなる滑石(本当はめのうや翡翠など)を何種類かの紙やすりで削り、最後はラインマーカーで着色して仕上げました。自分のオリジナルの勾玉を作ることができました。



週末教育事業担当 教育専門員より



みんな、
もっと
疑問を
抱こう!

僕の勾
玉がで
きてき
たぞ。

先生!

昔はサンドペーパーなんてないですよね。何を使ってたんですか? 穴はどうやって開けたの?

このように、保護者の方から質問をいただきますが、お子様は作業を完成することに気持ちを奪われがちです。その過程の中で不思議に思うことがあるはず。どんどん質問してくださいね。

カブトムシ・クワガタの次は「スズムシ」が登場!

も、すっかり成虫となり、カブトムシは来年成虫となる卵や幼虫も生まれました。同時に、教育センターへ比奈知保育園さんからスズムシを約100匹いただき、秋の訪れを告げるかのごとく元気な鳴き声を響かせてくれています。センターへお立ち寄りの際には是非様子をご覧ください。京都では7000匹のスズムシを飼っている華厳寺(鈴虫寺)がありますが、その10代住職の桂紹寿さんは、「(スズムシのように)欲を持たず、ただただ今を懸命に生きれば、結果は必ずとついてくる」とおっしゃっています。スズムシたちの鳴く様子を聴いて、そのように自分を振り返ったり、活力をもらったりするかもしれませんね。

また来年



多目的スペースの
棚の上にいるよ。